

NPO 法人近畿水の塾 2023 年度総会次第

日時:令和5年5月28日(日)13時30分~14時20分

場所: 尼崎市立小田南生涯学習プラザ 大会議室1

審議事項:

第1号議案 2022 年度事業報告及び活動決算について

第2号議案 2023 年度事業計画(案)及び活動予算(案)について

第3号議案 解散及び清算について

第21期（2022年度）事業報告 （2022年4月1日～2023年3月31日）

特定非営利活動法人 NPO 近畿水の塾は、第21期（2022年度）の事業について、以下のとおり報告する。

1. 人と水との関わりに係る調査及び研究

○継続的な公開研究会「河川塾」の開催

【実施内容】・拡大河川塾としてドキュメンタリー映画「荒野に希望の灯をともし」上映&講演会～石・中村哲さん現地活動35年の軌跡～を開催した。

※その他の活動については、新型コロナウイルスの影響により開催できず。

【実施場所】尼崎市立小田南生涯学習プラザ

【実施期間】2023年2月25日

2. 人と水との関わりに係る事業の企画及び実施

○各種イベント、出前講座の実施

【実施内容】・「第4回琵琶湖・淀川・大阪湾流域圏シンポジウム in 大阪」兼「第24回近畿水環境交流会 in 大阪」に参画した。

【実施場所】大阪工業大学梅田キャンパス

【実施日時】2022年5月28日

3. 人と水との関わりに係る行政機関、各種事業主体、特定非営利活動法人、市民ボランティア団体等への助言、提案または技術的援助

【実施内容】名張川竹藪管理と発生竹材による「竹事業」に参画した。

【実施場所】名張川水系

【実施日時】2022年4月1日～2023年3月31日

4. 人と水との関わりに係る専門家、実践者、市民及び各種機関等の交流の場の創出

○ホームページの作成・更新、ニュースレターの作成、会員MLの積極的利用等

【実施内容】・河川塾の情報を発信した。

【実施場所】事務局

【実施日時】随時

○他団体との交流やネットワークの拡大

【実施内容】・「全国水環境交流会」に積極的に参画した。

・「第14回“いい川”・“いい川づくり”ワークショップ」に参加した（9/3-4）。

・神戸「農都ネット」と情報交換を行った。

【実施場所】全国

【実施日時】随時

第21期(2022年度)特定非営利活動に係る活動決算

特定非営利活動法人近畿水の塾

2022年4月1日から2023年3月31日

(単位:円)

科 目	決算額	予算額	差異	備 考(決算)
I 収入の部				
1 入会金・会費収入				
正会員会費収入	0	0	0	2020年度から会費無料
賛助会員会費収入	0	0	0	
2 寄付金収入	0	0	0	
3 助成金収入	0	0	0	
4 事業収入				
調査・研究事業	0	5,000	△ 5,000	拡大版河川塾参加費
シンポジウム等企画・実施事業	10,500	10,000	500	
助言・支援事業	0	0	0	
交流創出事業	0	0	0	
5 その他収入				
受取利息	6	1,000	△ 994	
当期収入合計(A)	10,506	16,000	△ 5,494	
前期繰越収支差額	642,002	642,000	2	
収入合計(B)	652,508	658,000	△ 5,492	
II 支出の部				
1 事業費				
調査・研究事業	0	50,000	△ 50,000	拡大版河川塾等
シンポジウム等企画・実施事業	111,964	50,000	61,964	
助言・支援事業	0	0	0	
交流創出事業	0	0	0	
その他事業	90,000	0	90,000	NPO法人解散に向けた 助言謝礼
2 管理費				
広告宣伝費	0	0	0	
給与手当	0	0	0	
水道光熱費(事務局)	0	0	0	
通信費	1,375	20,000	△ 18,625	振込手数料等
旅費交通費	43,320	50,000	△ 6,680	
事務用品費	158,261	8,000	150,261	プリンタインク、PCモニ ター等Web会議機材
会議費	61,320	28,000	33,320	理事会会場謝礼、コピー
減価償却費	0	0	0	
租税公課	600	0	600	
諸会費	0	0	0	
寄付金	10,500	0	10,500	ペシャワール会寄付
雑費	0	0	0	
3 予備費	0	10,000	△ 10,000	
当期支出合計(C)	477,340	216,000	261,340	
当期収支差額(A-C)	△ 466,834	△ 200,000	△ 266,834	
次期繰越収支差額(B-C)	175,168	442,000	△ 266,832	

第22期（2023年度）事業計画 （2023年4月1日～2023年5月28日）

特定非営利活動法人近畿水の塾は、第22期（2023年度）の事業について、以下のとおり計画する。なお、NPO法人の解散後は、任意団体近畿水の塾として活動を継続する。

1. 人と水との関わりに係る調査及び研究

○継続的な公開研究会「河川塾」の開催

（前年度からの持越し、大滝講師による「京都カップ研究会」。堺かなえ講師による「『いい川いい川づくりワークショップ』の事務局仕事」はじめ、候補は20塾弱）

【実施内容】・「私の関わる水環境」などをテーマに、会員を含め会員外の各自の仕事や市民活動等の取り組み紹介を「河川塾」で実施する。

・近畿各地で、川歩きなどフィールドワークを積極的に実施する。

【実施場所】 Atelier（アトリエ）CK 等

【実施期間】 2023年4月1日～2024年3月31日（月1回程度）

2. 人と水との関わりに係る事業の企画及び実施

○各種イベント、出前講座の実施

【実施内容】・「第5回琵琶湖・淀川・大阪湾流域圏シンポジウム in 大阪」兼「第25回近畿水環境交流会」（5/20）に参画する。

・猪名川・藻川まつり（9月下旬）の中で、Eボートによる水面利用イベントを企画実施する。

・猪名川・藻川の合流点にある、「豆島」を活かした地域活動に参画する。

【実施場所】 藻川等

【実施日時】 2023年4月1日～2024年3月31日

3. 人と水との関わりに係る行政機関、各種事業主体、特定非営利活動法人、市民ボランティア団体等への助言、提案または技術的援助

【実施内容】 名張川竹藪管理と発生竹材による「竹事業」

【実施場所】 名張川水系

【実施日時】 2023年4月1日～2024年3月31日

4. 人と水との関わりに係る専門家、実践者、市民及び各種機関等の交流の場の創出

○ホームページの作成・更新、ニュースレターの作成、会員MLの積極的利用等

【実施内容】・河川塾のお知らせ、会員情報等、積極的に情報発信する。

【実施場所】 事務局

【実施日時】 随時

○他団体との交流やネットワークの拡大

【実施内容】・「全国水環境交流会」に積極的に参画する。

*全国水環境交流会 ホームページ <http://mizukan.or.jp/>

*全国水環境交流会いい川いい川づくりワークショップのページ
<http://mizukan.or.jp/kawanohi>

・「第15回“いい川”・“いい川づくり”ワークショップ」に参画する。

・「全国トンボ市民サミット」⇒開催不明。

・神戸「農都ネット」と情報交換を行う。

・大島宮窪の川崎良重さんと情報交換を行う。

【実施場所】 全国

【実施日時】 随時

第22期(2023年度)特定非営利活動に係る活動予算案

特定非営利活動法人近畿水の塾

2023年4月1日から2023年5月28日

(単位:千円)

科目	予算額	前年度決算額	差異	備考(予算額)
I 収入の部				
1 入会金・会費収入				
正会員会費収入	0	0	0	2020年度から会費無料
賛助会員会費収入	0	0	0	
2 寄付金収入	0	0	0	
3 助成金収入	0	0	0	
4 事業収入				
調査・研究事業	0	0	0	
シンポジウム等企画・実施事業	0	11	△ 11	
助言・支援事業	0	0	0	
交流創出事業	0	0	0	
5 その他収入				
受取利息	1	0	1	
当期収入合計(A)	1	11	△ 10	
前期繰越収支差額	175	642	△ 467	
収入合計(B)	176	653	△ 476	
II 支出の部				
1 事業費				
調査・研究事業	0	0	0	
シンポジウム等企画・実施事業	104	112	△ 8	講師謝礼等
助言・支援事業	0	0	0	
交流創出事業	0	0	0	
その他事業	0	90	△ 90	
2 管理費				
広告宣伝費	40	0	40	
給与手当	0	0	0	
水道光熱費	0	0	0	
通信費	0	1	△ 1	切手、振込料等
旅費交通費	9	43	△ 34	
事務用品費	0	158	△ 158	コピー代、封筒 理事会会場費
会議費	3	61	△ 58	
減価償却費	0	0	0	
租税公課	0	1	△ 1	
諸会費	0	0	0	
寄付金	0	11	△ 11	
3 予備費	20	0	20	
当期支出合計(C)	176	477	△ 301	
当期収支差額(A-C)	△ 175	△ 467	292	
次期繰越収支差額(B-C)	0	175	△ 175	

決 算 報 告 書

第 21 期

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

NPO法人 近畿水の塾

貸借対照表

NPO法人 近畿水の塾

令和 5年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
【流 動 資 産】	175,168	負債の部計	
現金及び預金	175,168		
		資 本 の 部	
		【資 本 金】	200,000
		【利 益 剰 余 金】	Δ24,832
		当期未処分利益	Δ24,832
		(うち当期利益)	(Δ466,834)
		資本の部計	175,168
資産の部計	175,168	負債及び資本の部計	175,168

損 益 計 算 書

自 令和 4年 4月 1日

NPO法人 近畿水の塾

至 令和 5年 3月31日

科 目	金 額	
[経常損益の部]		円
(営業損益の部)		
【売上高】		10,500
【売上原価】		
仕入高	201,964	
合計	201,964	201,964
売上総利益		△191,464
【販売費及び一般管理費】		275,376
営業利益		△466,840
(営業外損益の部)		
【営業外収益】		
受取利息	6	6
経常利益		△466,834
税引前当期利益		△466,834
当期利益		△466,834
前期繰越利益		442,002
当期末処分利益		△24,832

販売費・一般管理費

自 令和 4年 4月 1日

NPO法人 近畿水の塾

至 令和 5年 3月31日

科 目	金 額	
		円
事 務 用 品 費	162,681	
旅 費 交 通 費	43,320	
通 信 費	1,375	
会 議 費	57,500	
寄 付 金	10,500	
販売費及び一般管理費		275,376

特定非営利活動に係る事業会計財産目録

特定非営利活動法人 近畿水の塾

2023年3月31日 現在 (単位 円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	0		
普通預金	175,168		
流動資産合計		175,168	
2 固定資産			
一括償却資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計			175,168
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	0		
短期借入金	0		
流動負債合計		0	
負債合計		0	
2 資本金	200,000		
資本金合計		200,000	
負債・資本合計			200,000
正味財産			-24,832

解散及び清算について

○解散について

特定非営利活動法人近畿水の塾は、2002年8月8日の設立以降、「人と水との関わりの実践やその連携を通じて、市民による地域づくり、環境づくりに寄与すること」を目的とし、「私の関わる水環境」などをテーマに、会員を含め会員外の各自の仕事や市民活動等の取り組みを紹介する継続的な公開研究会「河川塾」を中心に数々の活動を実施してきました。

この度、20年を経過した節目でもあり、またNPO法人としての一定の役割を果たしたことから、当法人を解散することとします。なお、総会の議決後は速やかに解散登記や清算手続きを行い、活動の場を任意団体近畿水の塾に移し、再スタートすることとします。

200回超の「河川塾」も、コロナには勝てずで、随分長期のお休み。我々スタッフの方も寄る年波で、煩雑な事務作業等にも対応して、任意団体化を決めた所ですが、久々に、今年2月に204回目の拡大版・河川塾（中村哲さん映画会）を開催。定員いっぱいの充実感でした。この調子で、任意団体化後の河川塾等の活動も継続していきたいと考えていますので、皆さんご支援よろしくお願いします。

○残余財産の処分

清算処理後の残余財産については、次の団体に譲渡することとします。

譲渡先：特定非営利活動法人 全国水環境交流会

○清算人の指名

清算人については、次の者とします。

清算人：足立 崇博

○会計監査人の指名

解散後の会計監査人は、次の者とします。

会計監査人：小峰 朋子

〔参考：解散の手続きの流れ〕

